

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15100009	幹細胞再生医療のための機能性足場とバイオリアクタの開発	田畑 泰彦 (京都大学・再生医科学研究所・教授)	A
<p>本研究では、動物実験はされていないものの、スクリーニングテストに相当する細胞培養条件で目的に添うかたちで、かなり緻密に計画が実施され、研究成果の関連分野への波及性も十分予測でき、期待どおりに研究が進行したと判断できる。しかし、本研究では生理活性物質を固相化した機能性足場構築の実現が期待されたが、それに対する取り組み・成果は必ずしも十分ではない。本研究の成果を活かした今後の展開が期待される。</p>			